

## 最強の教育環境は 本校の教職員集団なのだ

と思った次第です。薄々そう感じてはいたのですが、本日私は心の中で狂喜乱舞いたしました。今日は生徒たちの待ちに待った、新入生歓迎球技大会でありました。左右色違いのハイソックスで揃えたり、なんとも芸術的な色彩・絵柄のクラスTシャツであったり、とお祭りムード満載であります。本日を迎えるにあたり、1週間ほど前に、生徒たちは生徒会を中心に臨時の全体集会をもちました。1,071名が集合した体育館、なのに針を落としても聞こえる位の静けさ。そんな中執行部からの話は「去年は思い出作りとあって、仲良しグループで写真を撮り合ったりして、実際の優勝戦のバレー試合に、応援が少なく、あまり盛り上がりませんでした。自分たちの行事なのに、クラスの団結や、上級生下級生との交流になっていなかったのが残念だった。自分たちで考えて行動するのが大切ではないか、皆で盛り上げていこうぜ。」これを受け、職員会議では携帯電話の使い方（カメラ機能の使用等）が議論されました。「決められたルールに従うということを学習させるのが大事である」「生徒の良識に任せてみようではないか」「去年の遠足では禁止にしたおかげでクラスリレーションが全員でうまくいった」「カメラ機能等、携帯電話の使用時間を決めてはどうか」何でもそうですが、80人いれば80通りの考え方があるわけです。で、最終的に「実際に使わせてみて、まずいところがあれば指導しよう。まずは生徒を信頼してみようじゃないか」と落ち着きました。球技大会後、ほぼほぼ及第点と先生方の評価でありました。西崎総合体育館が割れんばかりの大歓声と拍手の渦、隣席の教頭へすら声届かず、話不可。静寂の開会式→熱狂バレー、得点合間の各クラスでのリアクション→閉会式→清掃。安全に終了。メリハリのきいた1日、素晴らしい生徒達、最高の先生方で、幸せ一杯の帰り道でした。